

■ご使用にあたっての注意事項

生産中止図面

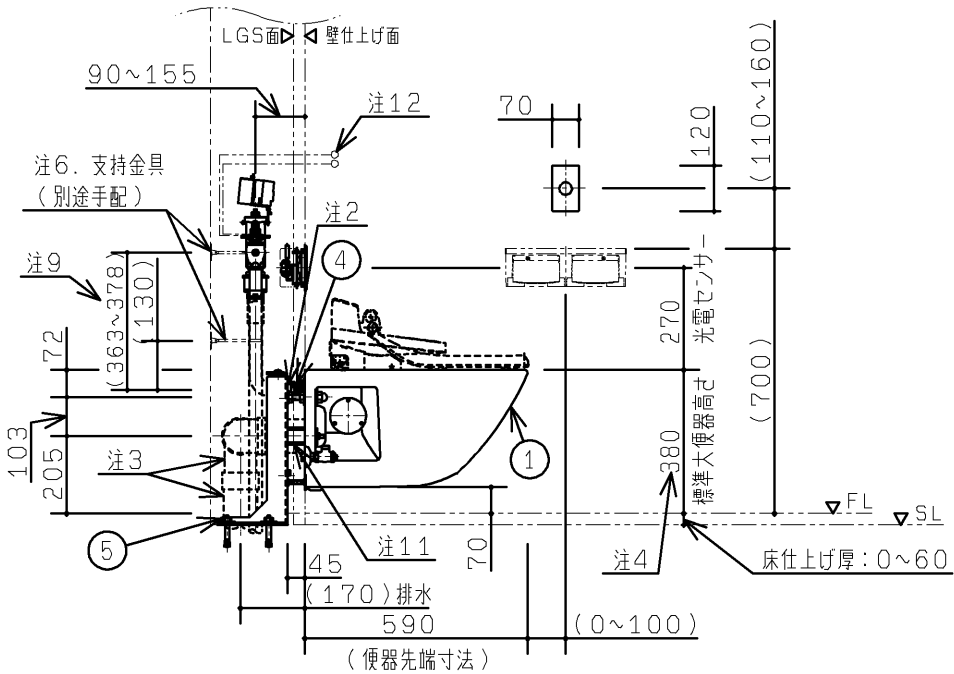
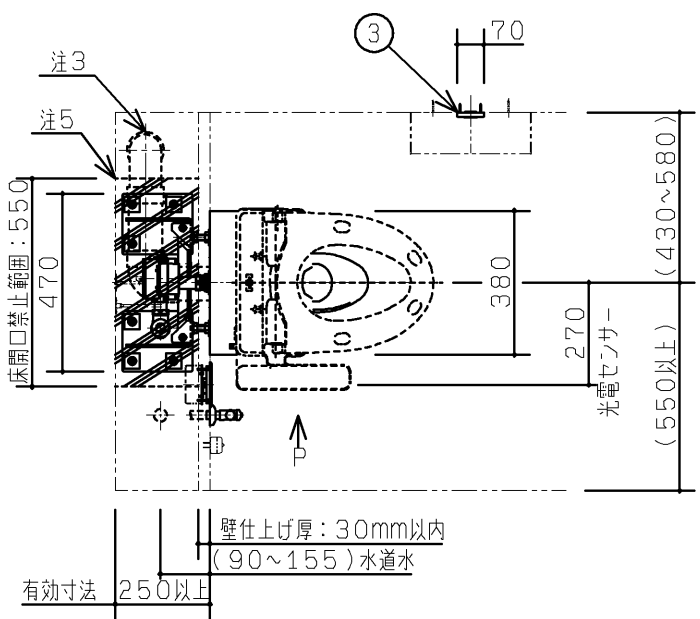
2015/04

※使用にあたっての注意事項

（故障の原因となります。）

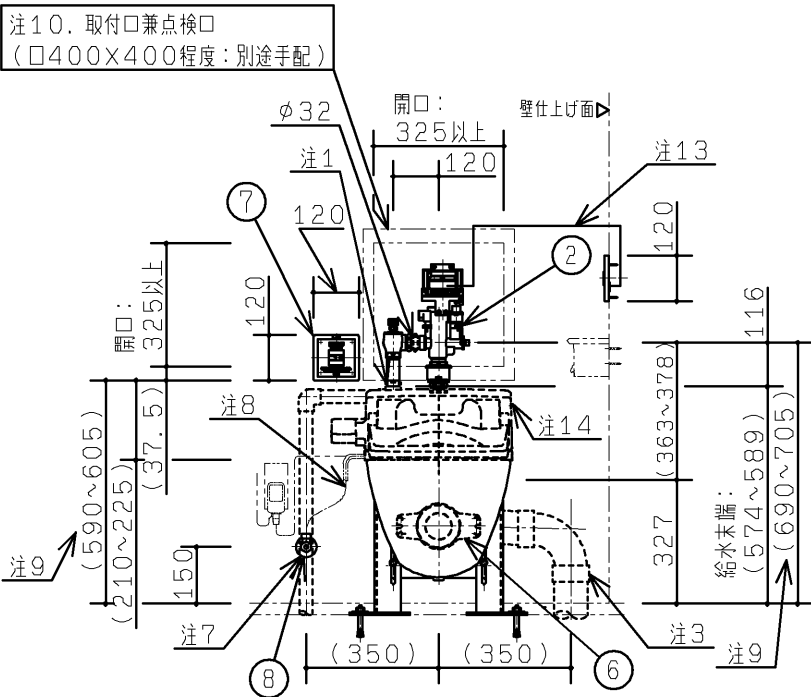
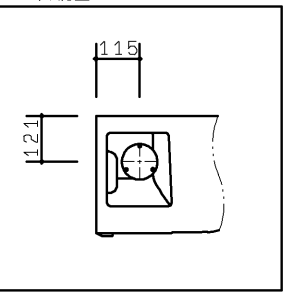
（部材や下地が腐食することで商品が脱落し、けがや重大事故につながるおそれがあります。）

※詳細につきましては、取扱説明書を参照してください。



壁掛大便器取付スタンド設置条件	
床コンクリート仕様	圧縮強度20.6MPa以上、鉄筋のかぶり厚50mm以上
	養生期間 28日以上（アンカー施工時）
	ベースプレートの周囲40mmの範囲は開口や欠損禁止
パイプスペースの奥行き寸法	壁厚（30mm以内）を含め250mm以上
壁仕上り厚調整範囲	30mm以内（下地の耐水合板を含む）
床仕上り厚調整範囲	60mm以内（標準取付け高さの場合）、便器高さUP寸法＋仕上り厚：60mm以内

<P矢視図>



器具明細			
品番	番号	品名	数
※1 UAXC1B*2AL	—	壁掛大便器セット	1
※1 UAXC1B*2ALの内訳			
品番	番号	品名	数
C473PLC	①	便器（エロンゲートノフチなしトルネード式／左掃除口）	1
TEV16UR	②	自動フラッシュバルブ（水道水仕様）	1
TES47U#BES	③	タッチスイッチ	1
TU82C32D	④	スパッド	1
UTR855Y	⑤	壁掛大便器取付スタンド	1
（品番※部：P）HP551VP	⑥	壁フランジ（VP75：パッキンタイプ）	1
（品番※部：U）HP551VU		壁フランジ（VU75：パッキンタイプ）	
THE28	⑦	光電センサー	1
《別売品》			
—	—	便座 ※1	1
—	—	紙巻器	1
TH484V3	⑧	専用止水栓	1

※1：光電センサーを遮る恐れがあるため、便座は便ふたなし品をご使用ください。
※下記、工事区分目安です。現場にて事前に工事区分の確認をしてください。

設備工事	注1：ねじサイズ R1
	注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）
	注3：排水は末端の呼び径75で準備ください。
	注4：便器取付高さは用途に応じて、370～440の範囲で設定が可能です。（SL～F.L.=0の場合）
	注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲（壁掛大便器取付スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。
	注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。 参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品
	注7：給水専用止水栓 ねじサイズR1/2（温水洗浄便座を使用する場合）
	注8：フレキホース長さ 0.95m（温水洗浄便座を使用する場合）
	注9：自動フラッシュバルブ設置高さと点検口取付高さは上記注4の範囲で連動して設定してください。
	注：本大便器は、フラッシュバルブ専用です。 注：壁掛大便器取付スタンドは下地補強なしで施工できる本大便器専用の取付スタンドです。 施工に当っては、UTR855系の製品図面と施工説明書を参照ください。 注：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。 注：給水には、最低必要水压0.07MPa（流動時） 瞬間流量が102L/分以上得られるように配管設計してください。（最高水压0.75MPa）ただし、自動フラッシュバルブ取付時には瞬間流量が84L/分以上となります。 注：フラッシュバルブ用の給水管径は25A以上としてください。 温水洗浄便座用の給水管径は15A以上としてください。 注：給水スパッド締付けの作業性向上が図れる専用工具も用意しております。 必要に応じて別途手配ください。（品番：UTR900S） 注：便器裏開口形状についてはスタンド同梱の型紙を利用ください。
建築工事	注10：点検口（別途）は、施工時に給水スパッドの締付け等の器具取付口を兼ねています。壁開口は左に示す寸法で必ず開けてください。
	注11：排水フランジをタッピンねじで壁下地に固定する必要があるため、排水フランジ周りの下地は耐水合板（t9mm以上）としてください。
電気工事	注12：電源AC100V 50/60Hz VVF2×1.6mmを製品端子台に接続のこと
	注13：信号線（6m、スイッチユニットに付属）埋め込み壁に事前に電線管を通しておきます。
	注14：温水洗浄便座を使用する場合は温水洗浄便座に合わせた電源工事が必要です。 ※便座定格：使用する便座を確認のうえ設定してください。

※壁掛大便器専用ライニングを設置して温水洗浄便座を使用する場合は温水洗浄便座給水取り出し位置が異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

※座る動作に障がいのある方が使用する場合は、過剰な横荷重が便座に加わることで、便座が外れて転倒し、けがをする場合があります。

外れ防止のため強度アップ品に仕様変更した専用便座をご使用ください。

※施工および建築条件などは、各器具の施工説明書を確認ください。

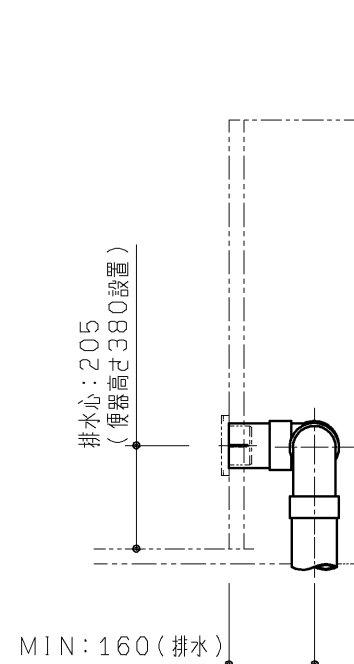
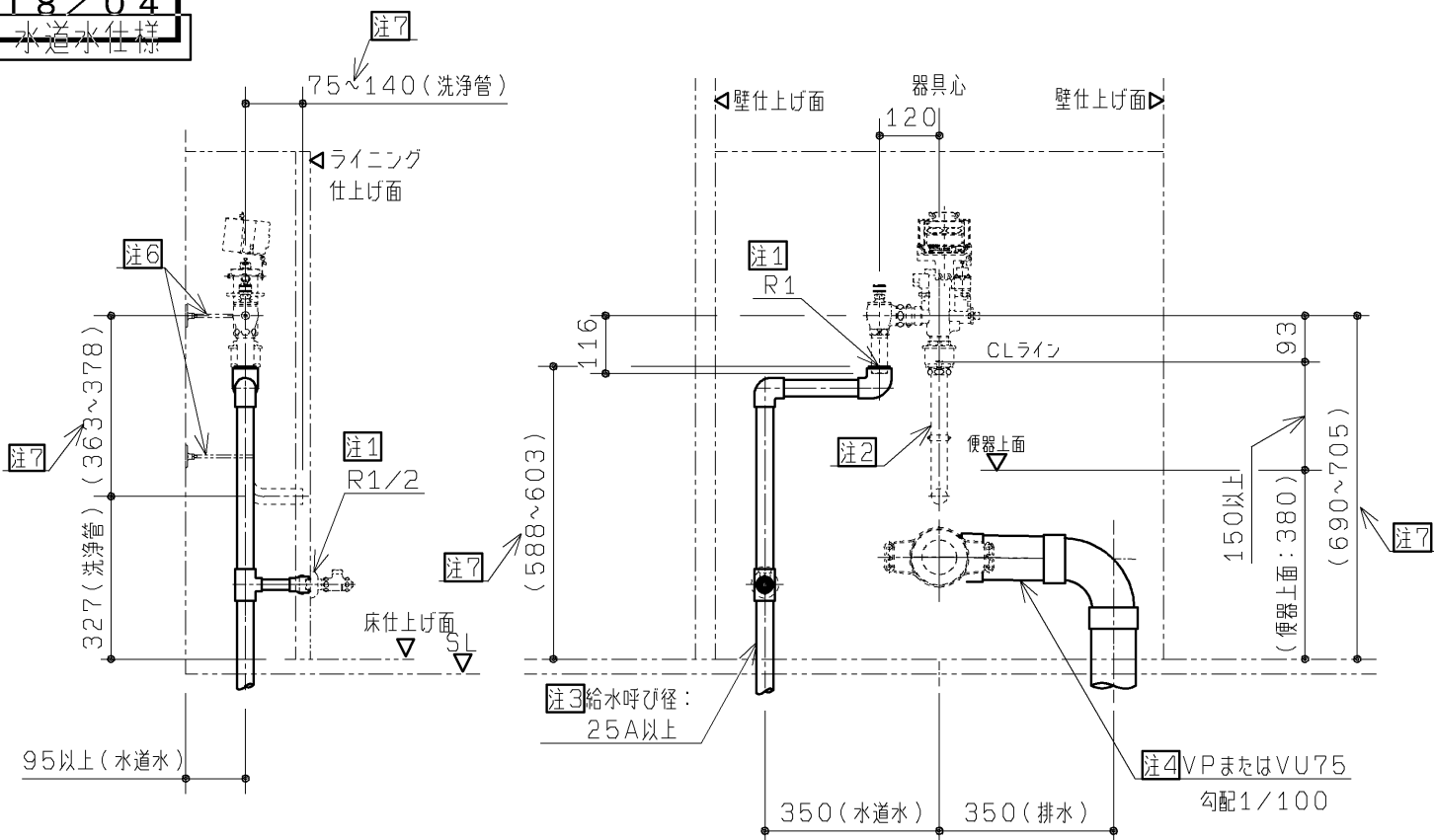
※商品（図面）は諸般の事情により、予告なく改良・仕様変更などを行う場合があります。

TOTO			第三角法	単位 mm	名称 腰掛式壁掛大便器セット （水道水仕様／単独排水／間仕切タッチスイッチ／左掃除口）
製図 加瀬	検図 堤口	日付 15.02.27	尺度 1：20	品番 UAXC1BP2AL UAXC1BU2AL	
備考					図番

生産中止工事（単独配管）

2018/04

水道水仕様

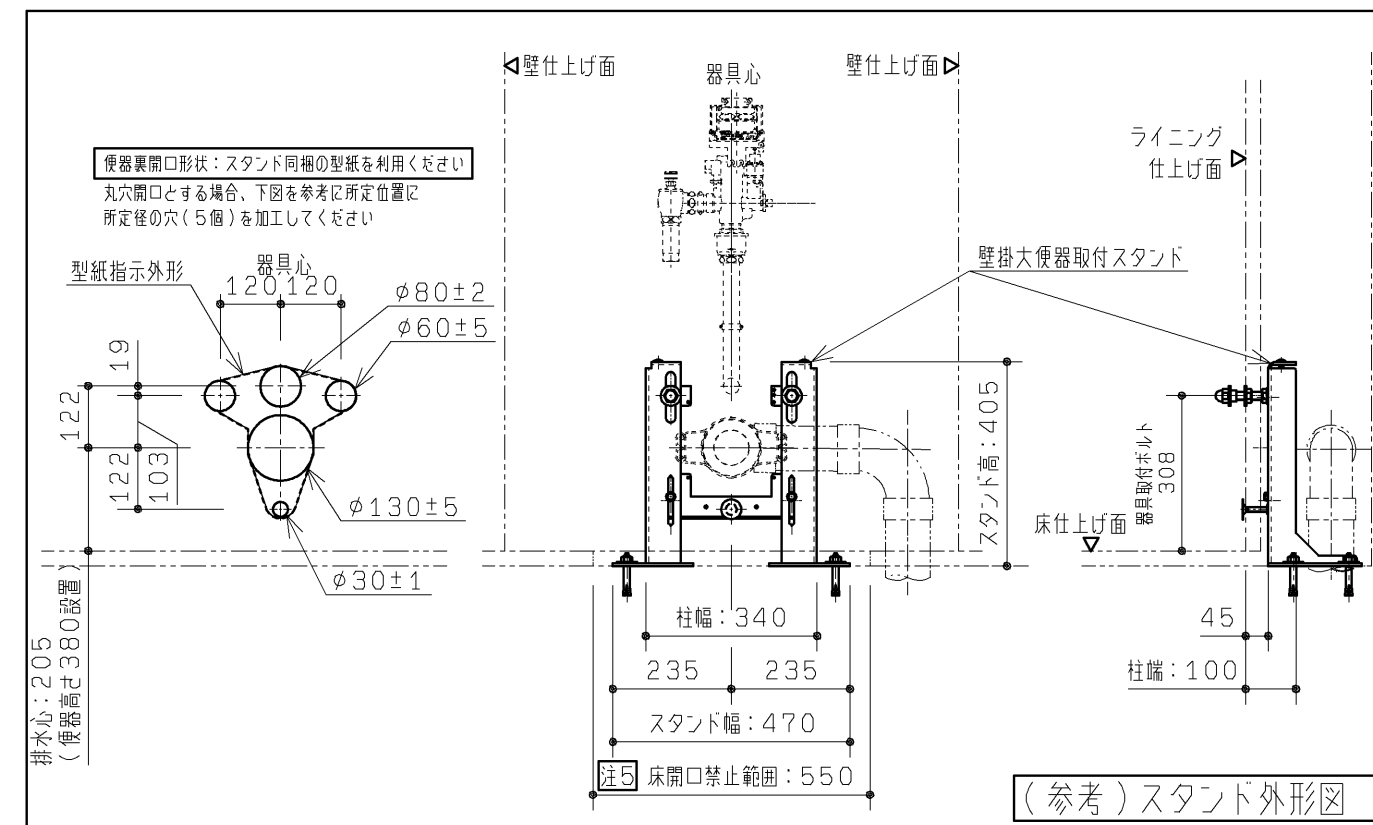
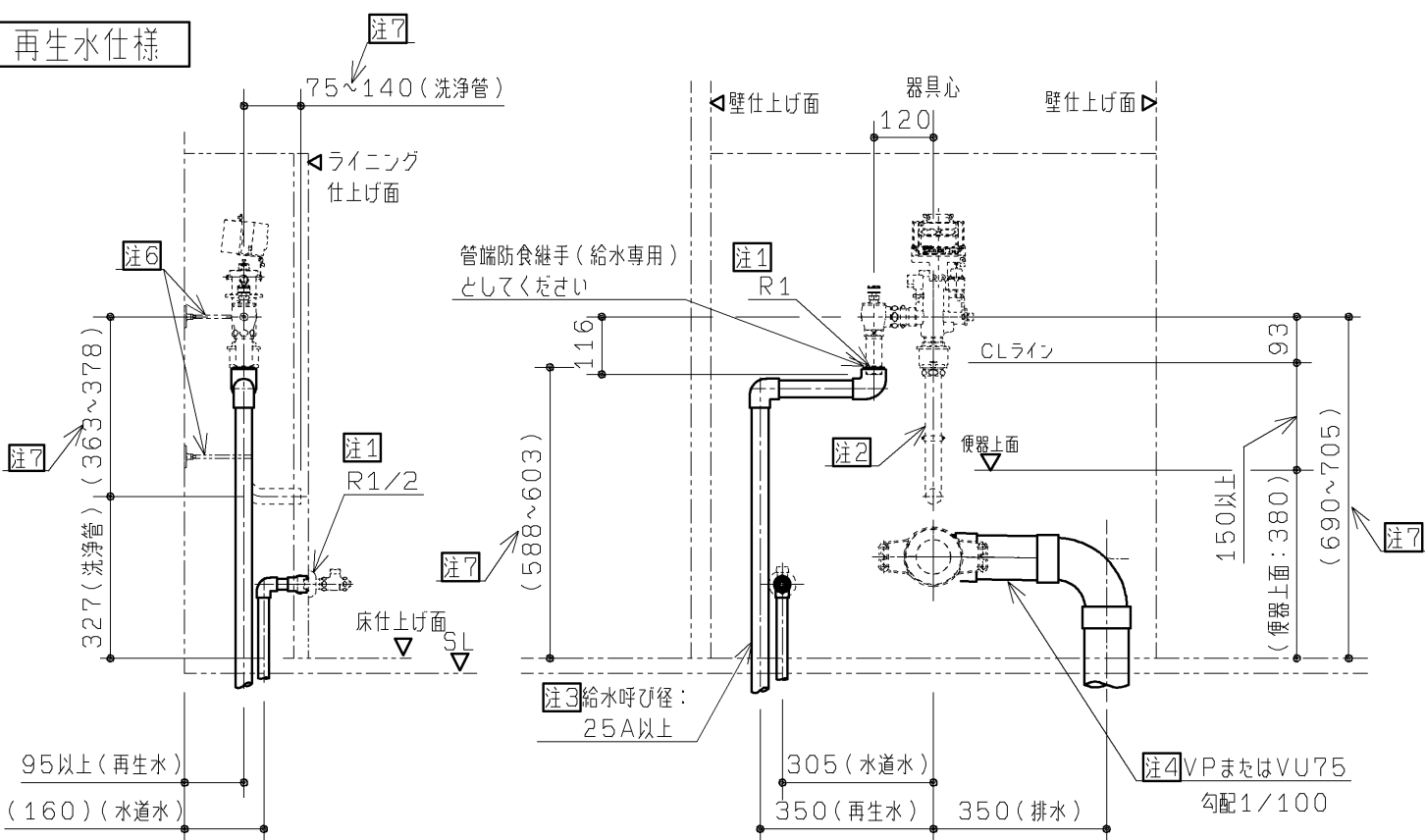


本図は、配管設置の一事例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともあります
ので、その際は立上げ位置を再設定してください。

- 注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）
注3：フラッシュバルブ用の給水管径は25A以上としてください。
注4：排水は末端の呼び径75で準備ください。
注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲
（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を
避けた位置から取り出してください。
注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又は
LGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品
注7：フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を
示しています。

- 注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保して
ください。（最高水压（静止時）0.75MPa）
注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける
位置に配管を立ち上げてください。

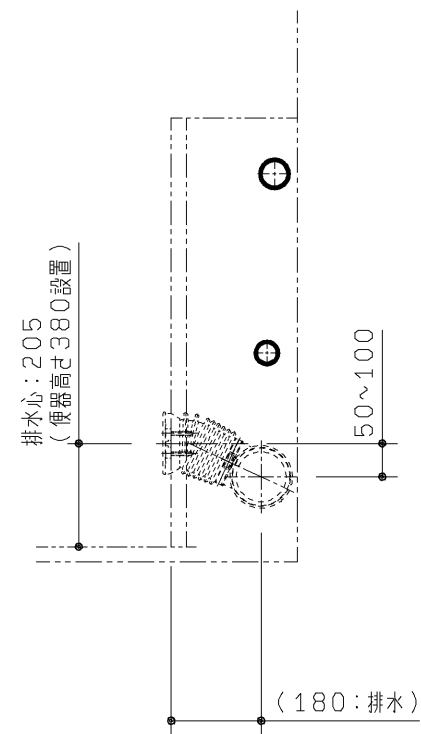
再生水仕様



※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が
異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO			第三角法	単位 mm	名称	壁掛6L大便器セット事前施工情報
製図	加瀬	検図	堤坂口	日付 15.02.27	尺度 1:15	品番 UAXC=24
備考 設備工事（単独配管）（1/3）					図番 UAXC=24	

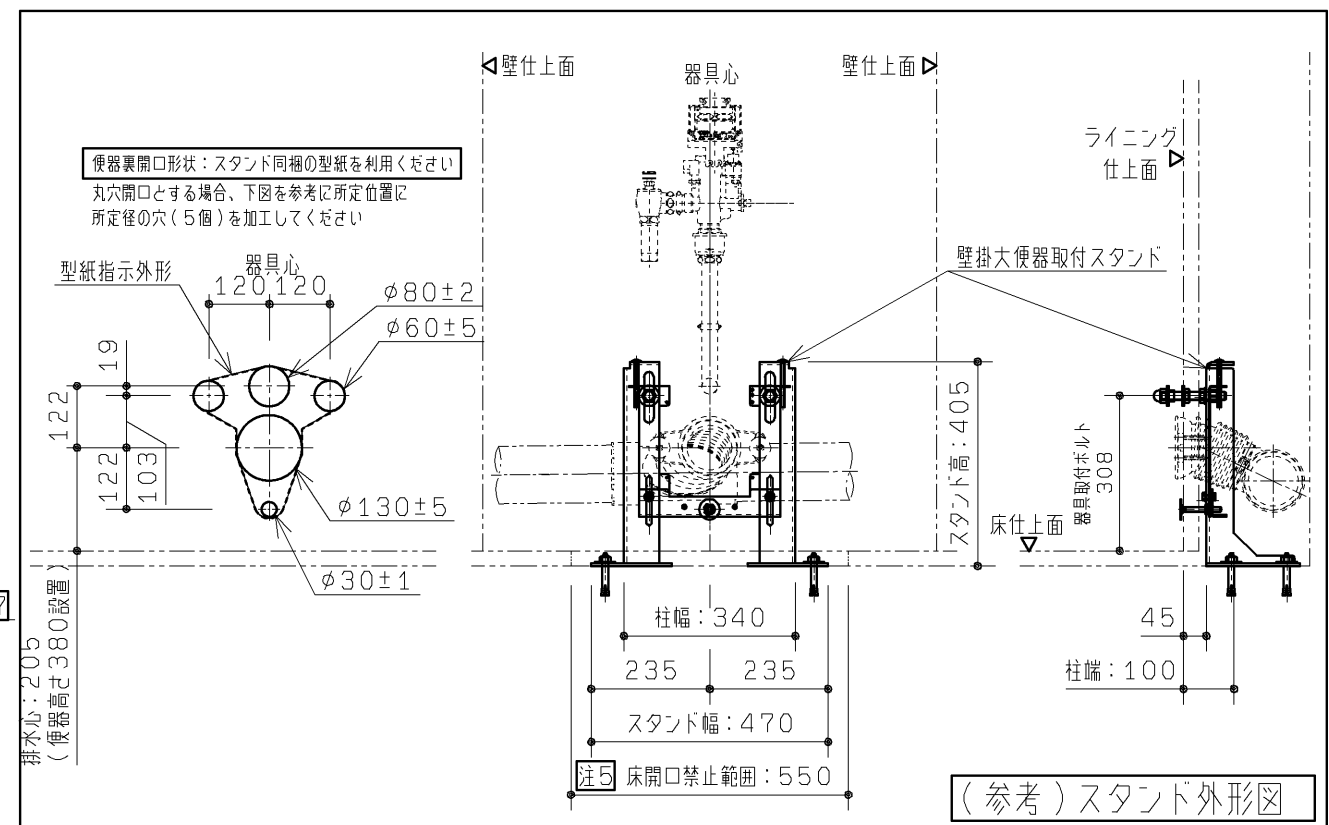
~~水道水仕様~~



本図は、配管設置の一例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともありますので、その際は立上げ位置を再設定してください。

注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）
注3：フラッシュバルブ用の給水管径は25Aとしてください。
注4：排水は末端の呼び径100で準備ください。
注5：ライニング内から配管抜かす場合は床開口禁止範囲（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。
注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品
注7：フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を示しています。
注8：通気管と汚水管の接続は水上側の器具間で接続してください。
詳細は（3/3）参考図面を参照してください。
注9：給水管呼び径は通数に応じて都度設計してください。1連横引き場合は、呼び径は25A以上としてください。
注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）
注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを選択する位置に配管を立上げてください。

注7



TOTO

第三角法

名称	
----	--

壁掛6L大便器セット事前施工情報

製図 加瀬

検図	堤
----	---

日付	
15. 02. 27	

	番品
--	----

UAXC=25

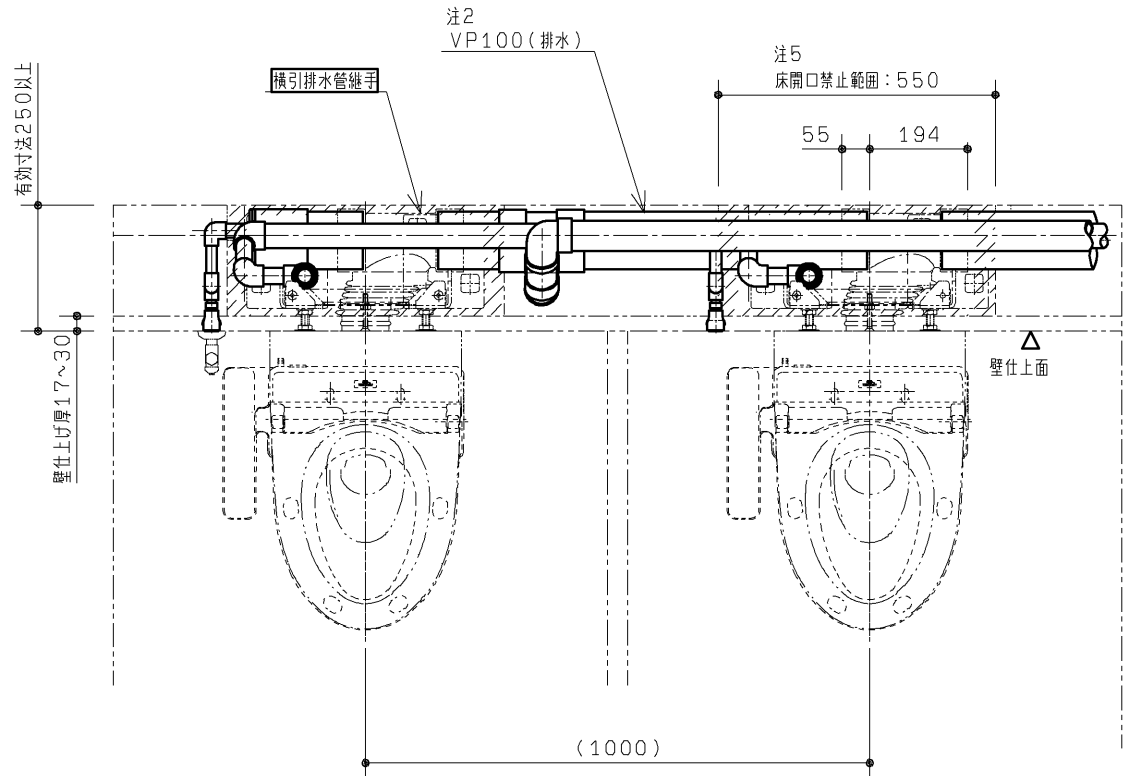
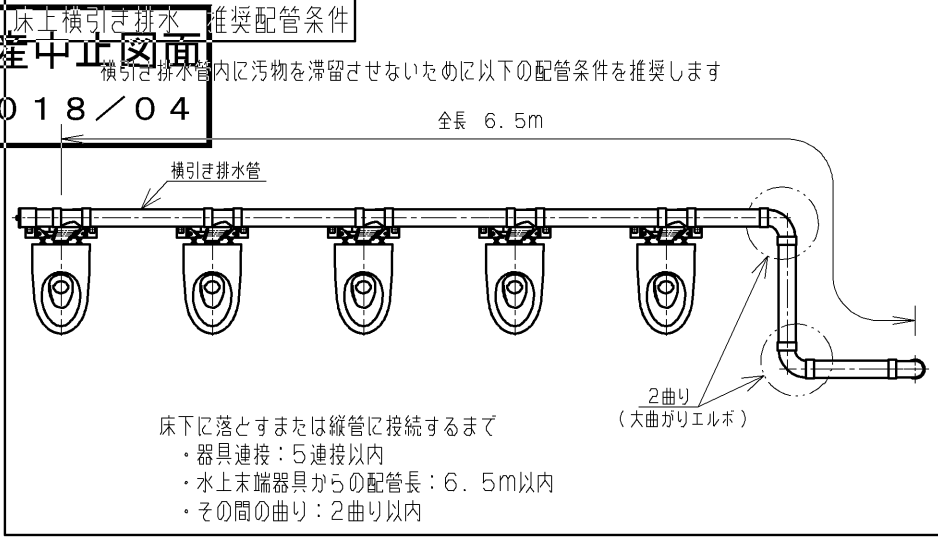
備考
設備工事（横引配管）

(2 / 3

	凶	番
--	---	---

UAXC=25

生産中止図面
2018/04



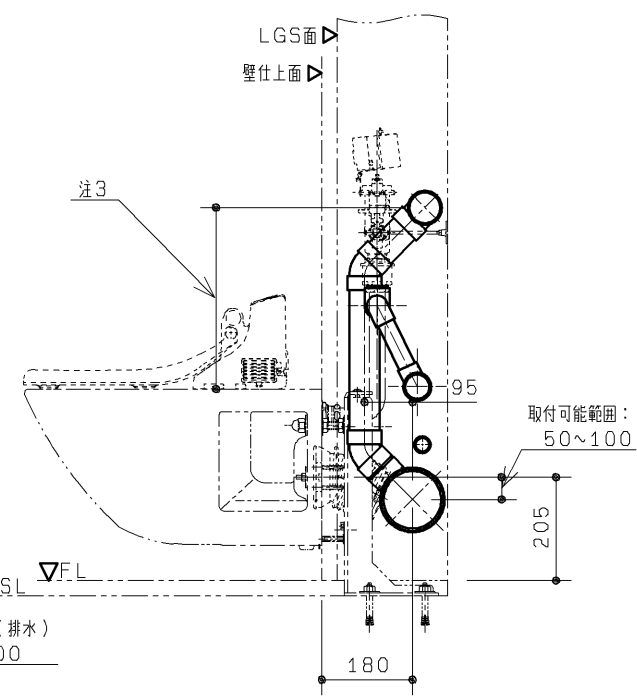
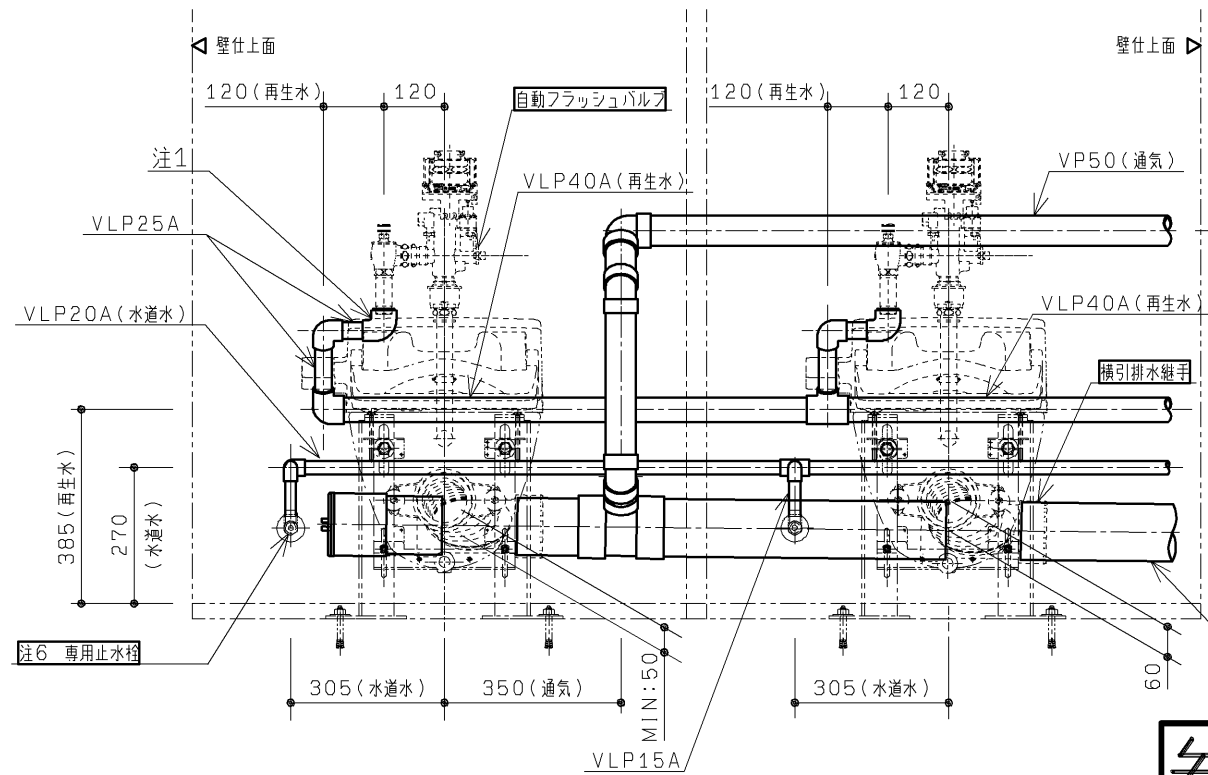
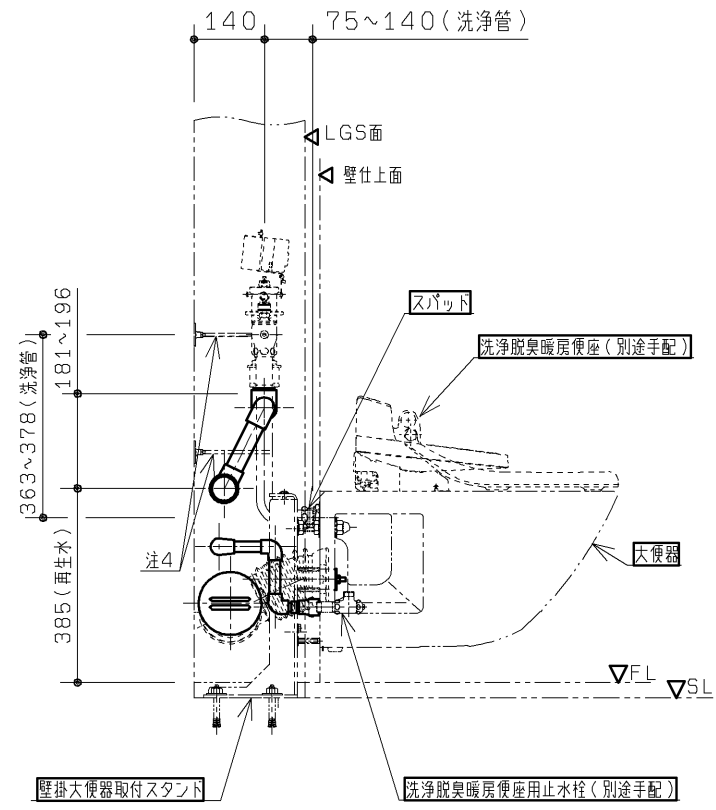
◆排水管を床上横引きする場合、器具は1系統5連接までとしてください。

◆配管は躯体又はLGSなどに固定してください。

※ 部に配管が位置しないようにしてください

◆壁掛大便器取付スタンド のベースプレート周囲40mmの範囲を避けた位置から配管を取り出してください。
この範囲内に床コンクリートの開口や欠損があるとアンカーボルトの必要強度が得られません。

- 注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
注3：通気管はあふれ縁から150mm以上上方で、通気立管と接続してください。
注4：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクダイ (品番：2211・2216) 相当品
注5：ライニング内から配管床抜きする場合は床開口禁止範囲 (スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲) を避けた位置から取り出してください。
注6：ねじサイズR1/2 (温水便座を使用する場合)
銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注：給水には最低必要水圧0.07MPa (流動時) を確保してください。
(最高水圧0.75MPa)
注：必要に応じて防火区画貫通部処理を行ってください。



参考図

本図面は再生水仕様での事例になります。
水道水仕様の場合は、本図を参考に設計してください。
WL用の横引き配管は必要ありません。

※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称	壁掛6L大便器セット床上横引き配管例				
製図	加瀬	検図	堤坂口	日付	15. 02. 27	尺度	1 : 15	品番	UAXC=26
備考								図番	UAXC=26
設備工事（横引き配管）								（3/3）	